

1 背景とねらい

農業簿記の記帳は、記録による適正な経営管理を可能にし、青色申告制度を活用した適正な税務申告を行い節税対策が図られるなど、多くの利点がある。ことに、農業をめぐる環境が厳しい時だけに、これまで以上に簿記記帳により、経営の実態を正確に把握し、生産コストの引き下げや生産性の向上に努め、健全な経営を確立しなければならない。

そこで、昭和60年に岩手県農政部、岩手県農業会議、岩手県農業協同組合中央会等が中心となって、岩手県農業簿記検討委員会を設置し、容易に簿記記帳できる「やさしい農家経済簿」を作成し、県内の指導機関の統一簿記として広く普及してきた。

しかし、この「やさしい農家経済簿」でも、確定申告に利用する場合、減価償却費や農産物受払計算等、繁雑でむずかしい集計が必要であり、簡易に経営分析したり、決算書を計算したりできる手法が求められている。

このことから、統合型ソフトを利用して、繁雑な計算過程を簡略にし、迅速に経営分析や決算書計算を行うシステムを作成したので、指導上の参考事項に供する。

2 技術の内容

このシステムは、家族と経営の状況（氏名・耕地面積・飼養家畜頭数等）、日々の取引（月日・科目コード・金額）、償却資産等を入力するだけで、農家収支月別集計表、財産目録、農家経済計算書等を自動的に計算するシステムである。また、農業所得、農家経済余剰等の経営分析もできる（システムの構成は、図を参照のこと）。

システムの特徴は次のとおりである。

- (1) 本システム独自のメニューにより、キー操作を簡略化し、使用統合型ソフトに慣れていない人でも利用可能である。
- (2) 勘定科目入力をコード入力とし、効率的に入力できる。
- (3) ほとんどの転記事務をなくし、転記の煩わしさを解消している。

3 指導上の留意事項

- (1) 本システムは、市販の統合型ソフトを用いて作成した。利用する場合は、別途、MS-DOSと統合型ソフトを購入すること。
 - ・使用機器 コンピュータ本体(NEC PC-9801シリーズ)、ディスプレイ、プリンタ
 - ・使用ソフト Lotus 1-2-3 R2.1J plus
- (2) このシステムでは、作業時間の集計はできないので、作業時間の集計は生産費把握システム「コストくん」等を利用して行うこと。

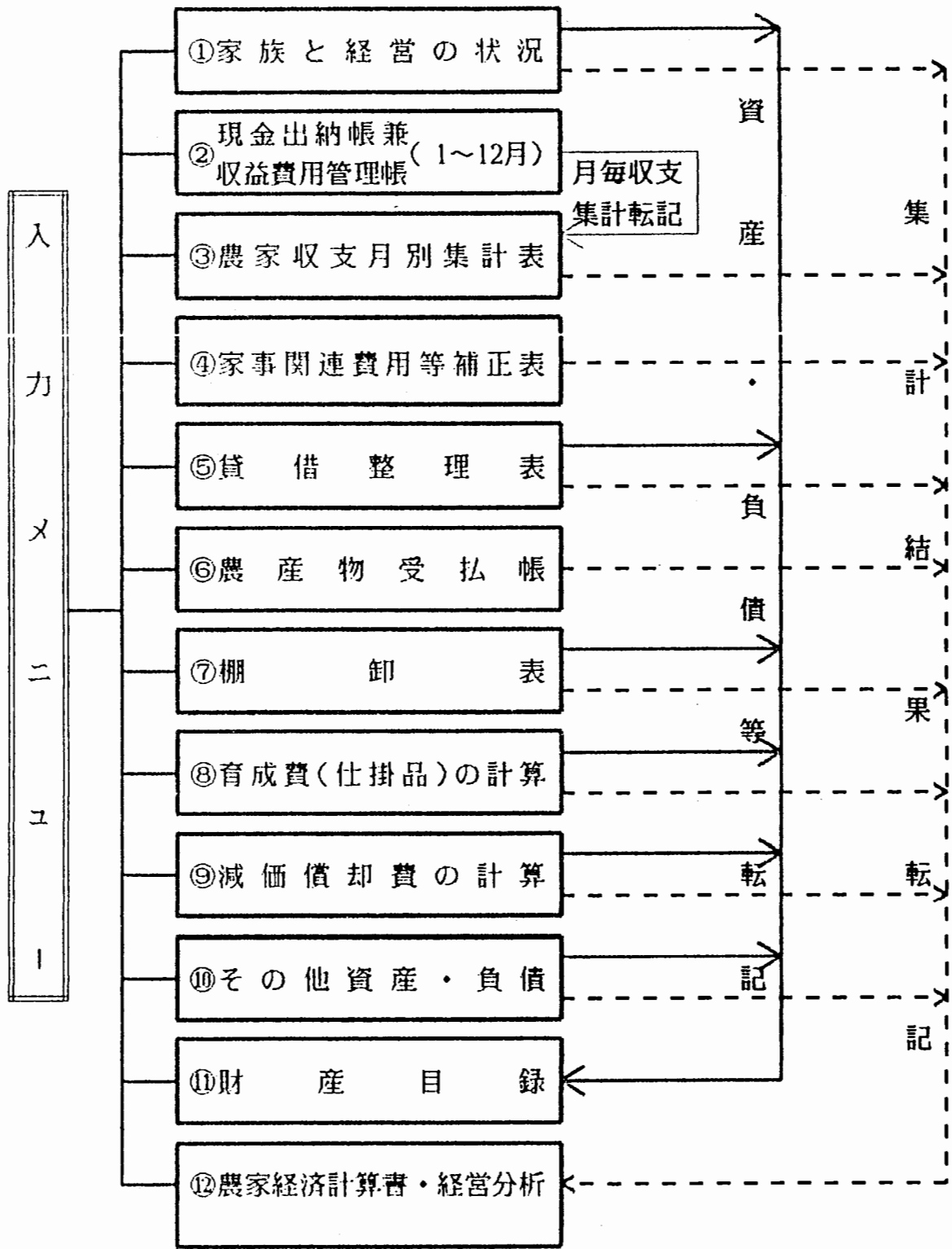


図 システムの構成